

『貝塚』総目次（第1号～第79号）

『貝塚』のバックナンバーは、メール(mate-cul@nanzan-u.ac.jp)でも注文
できます。

氏名、住所（雑誌送付先）、誌名、巻号、部数をお知らせください。

・誌代： 『貝塚』 ～67号：1冊 1,000円（非会員様送料有料）

68号～：1冊 1,500円

復刊第1号(1968.7)

「貝塚」復刊のこと 平井尚志
韓国考古学の近況について 田村晃一
いちり白の構造 大脇直泰

第2号(1969.1)

アルダンの旧石器について 加藤晋平
アルダンの早期新石器時代 中村嘉男
鉄鍋考 宇田川 洋
〔採集メモ〕タコイシ 岸上興一郎

第3号(1969.7)

楽浪・帯方に就いて 駒井和愛
シベリア旧石器研究の近況 加藤晋平
「五領台上層式」土器についての覚え書 岡本 勇
〔採集メモ〕露卯下駄 岸上興一郎

第4号(1970.1)

台湾東海岸における先陶文化の発見について 国分直一
八郎潟湖底発見のくり船について 富樫泰時
〔採集メモ〕ミズカンザ 団 えみ

第5号(1970.7)

曾野寿彦博士追悼記念特集

Czechoslovak Reminiscence of Toshihiko Sono Jiri Neustupny

感慨 八幡一郎

東海大学と曾野氏 宮本延人

曾野さんの学問 駒井和愛

曾野寿彦君と東京大学イラク・イラン遺跡調査団 江上波夫

アンデスと曾野さん 泉 靖一

曾野さんを悼む 関野 雄

曾野君と私 上原淳道

曾野寿彦君をしのぶ 岡崎 敬

テル・サラサートの変形頭蓋 池田次郎

後輩として-その憶い出の一端- 鈴木八司

イランの墨壺 松谷敏雄

思い出ずるままに 曾野康子

編集をおえて 中川成夫

第6号(1971.1)

鎌倉出土の下駄資料 赤星直忠

田村三省のこと 杉山荘平

アムール下流の女真期の墓 加藤晋平

〔採集メモ〕キセル 岸上興一郎

同人名簿

第7号(1971.7)

民俗資料の展示について 中川成夫

東京都八王子城出土の石磨臼について 土井義夫

アルダンの鉄器時代 加藤晋平

〔採集メモ〕イナウ 宇田川 洋

第8号(1972.2)

駒井和愛博士追悼記念特集

駒井和愛博士の思い出 原田淑人
追悼 駒井和愛先生-立教大学と駒井先生- 手塚隆義
駒井さんを憶う 小林知生
漢代の封印使用の一方途-僮僕の例- 栗原朋信
駒井和愛博士と満蒙考古学 平井尚志
駒井先生とアイヌ考古学 桜井清彦
楽浪郡治祉小考-駒井先生と朝鮮考古学- 田村晃一
駒井博士とシベリア研究 加藤晋平
駒井博士と北海道常呂遺跡 藤本 強
父の思い出 駒井博愛
編集後記 中川成夫

第 9 号(1972.7)

いわゆる「弓筈状有栓骨角製品」について 武井則道
マリアナ諸島，特にロタ島の石臼について 江上幹幸
〈書評〉 Explanation in Archaeology チャールズ T.キーリー
〔採集メモ〕 チャウス 土井義夫

第 10 号(1973.1)

秋川市二宮神社境内出土の瓦 小林 敬
葛飾区御殿山公園出土の漆器 越田賢一郎
上部沿アンガラの中石器 加藤晋平
〔採集メモ〕 青竜刀形骨器 岩本義雄

第 11 号(1973.1)

横浜市鶴見区八千代田横穴群出土の内耳付土器と摺り鉢 井上義弘
バイカル編年の問題点 加藤晋平
サハリン島初の先土器文化 葛西 親
〔採集メモ〕 ノミ 田辺 悟

第 12 号(1974.3)

ヤクーチャの旧石器について 加藤晋平

地方における郷土資料館のあり方に思う 尾島利雄
駒井和愛博士著作目録再補遺 藤江 稔 平井尚志
〔採集メモ〕 編みカゴ状木製品 宇田川 洋

第 13 号(1974.10)

松森胤保と E.S.モース 杉山荘平
立川ローム層最古の文化 小田静夫・C.T.キーリー
佐渡国分寺社出土の人物戯画のある瓦 中川成夫・土井義夫
〔採集メモ〕 露卯下駄 宍戸武昭

第 14 号(1975.3)

私年号「至大」の時期 肥留間 博
千葉県・勝浦市出土の板碑について 橋口定志
原田淑人先生を偲ぶ 手塚隆義
〔採集メモ〕 鎌 長瀬 衛

第 15 号(1975.12)

最近の中世城館の考古学的調査例から 橋口定志
論評「天野 武・白山山麓の除雪具」(物質文化 24) 篠原 徹
〔採集メモ〕 蔵骨器 矢島国雄・玉林美男

第 16 号(1976.8)

原田淑人博士生誕九十年記念特集
原田先生と硬玉問題 八幡一郎
原田淑人先生とその学風 三上次男
父の学業, その周辺 原田正己
編集後記 中川成夫

第 17 号(1977.3)

上原甲子郎同人の人と業績
上原甲子郎さんのこと 小片 保
よきボランティアとしての上原君 宮 栄二

上原甲子郎と民具研究 近藤忠造
上原さんと佐渡の旧石器 椎名仙卓
上原甲子郎さんと『縄文文化研究』 磯崎正彦
パパと動物 上原理子
パパの思い出 上原哲子
面影を偲んで 上原ミツ
編集後記 中川成夫

第 18 号(1978.2)

「假廬の宿」小考 橋口定志
マリアナ・ロタ島のポイオ(poio)漁法 印東道子
〔採集メモ〕いわゆる“エナ”処理用カワラケ 土井義夫・紀野自由

第 19 号(1978.5)

近世民俗誌と考古学-原始農耕論との関連において- 中川成夫
千葉県夷隅川流域出土の「ファシットを有する石器」をめぐって 村井美子
〔採集メモ〕連歯下駄 又吉美佐雄

第 20 号(1978.8)

尾崎喜左雄博士追悼記念特集
尾崎氏と私 末永雅雄
尾崎喜多八こと喜左雄さん 藤島亥治郎
歴史教育者としての尾崎先生 松島栄治
中世史研究と尾崎喜左雄先生 峰岸純夫
尾崎喜左雄先生を憶う 塚田 光
家庭人としての尾崎喜左雄 尾崎益雄
編集後記~尾崎先生と私~ 中川成夫

第 21 号(1978.12)

西周と考古学 杉山荘平
水盤 渡辺 誠

〔採集メモ〕 ヤリガンナ 戸井晴夫

第 22 号(1979.6)

自然貝層による内湾の海況復原と縄文時代の遺跡 松島義章・小池裕子

サハリン先土器時代に関する資料紹介 岩本義雄

〔採集メモ〕 12 世紀代後半の杯 滝沢 亮

第 23 号(1979.9)

宮本馨太郎先生追悼記念特集

宮本馨太郎さんの横顔-アチック時代 小川 徹

宮本先生の学問 林 英夫

宮本先生と民具研究 中村たかを

宮本先生と考古学 加藤晋平

宮本先生と博物館新設事業 佐々木朝登

父と私 宮本瑞夫

あとがき～宮本先生と私～ 中川成夫

第 24 号(1980.3)

近江水口煙管考 古泉 弘

先史時代における生活様式の復元 David Hurst Thomas 関 俊彦訳

〈書評〉『倭城 I』 橋口定志

〔採集メモ〕 長衫 渡辺亜子

第 25 号(1980.5)

近世における本瓦の製作技術について 宮崎 博

論評 「古泉 弘・江戸の出土下駄」(物質文化 32) 潮田鉄雄

木挽き用具について 阿部恭平

第 26 号(1980.11)

小片 保博士の人と学問

人類学研究と小片教授 渡辺直経

縄文人骨研究と小片教授 池田次郎

エジプト調査と小片教授 桜井清彦

ミイラ研究と小片教授 松本 昭

解剖学研究と小片教授 森本岩太郎

小片 保博士を憶う-縄文研究グループとのかかわりについて- 塚 田
光

叔父と私 小片丘彦

あとがき 中川成夫

第 27 号(1981.5)

黒川真頼の考古学 杉山荘平

上総法興寺所蔵の中世陶磁器について 橋口定志

新潟県妻有地方における庚申年供養行事について 滝沢秀一

〔採集メモ〕陽物形土製品 尾垣勝彦・宮崎 博

第 28 号(1981.11)

塚田 光同人の人と学問

縄文集落の研究と塚田 光氏 後藤和民

塚田さんの中期縄文時代研究について 神村 透

塚田 光君の石器時代研究史の研究について 渡辺兼庸

塚田 光君と『考古学手帖』のことなど 岡本 勇

父の思い出 塚田 洋

塚田典子

あとがき 中川成夫

第 29 号(1982.5)

江戸の出土下駄に関する補足 古泉 弘

先史時代における辺境の概念 John Alexander 関 俊彦訳

〔採集メモ〕起請文挟板 池田公一

第 30 号(1982.11)

藤田亮策先生生誕 90 年記念特集

戦前における藤田亮策先生の朝鮮考古学 有光教一

韓国考古学の諸問題 金 元龍
編集後記 中川成夫

第 31 号(1983.5)

考古学におけるタイプとは David H. Thomas 関 俊彦訳
ライン諸島採取の石斧について 齊藤基生
中国東北地区における回転式銚頭について 山浦 清
補遺「房総宝篋印塔考」 齊木 勝
〔採集メモ〕葛西城祉出土の銅製合子 古泉 弘

第 32 号(1983.11)

宮本延人名誉教授頌寿記念特集
宮本延人名誉教授略歴抄
宮本延人名誉教授著作目録抄
旧台北帝国大学時代の雑談記 宮本延人
編集後記 中川成夫

第 33 号(1984.5)

東京美術学校と考古学 杉山荘平
「炉穴」研究ノート 佐藤明生
(書評) 古泉 弘著『江戸を掘る』 高田孝雄
〔採集メモ〕近世蝦夷地における鉄器の一資料 天野哲也

第 34 号(1984.11)

市川信次先生の人と学問
市川信次先生略歴抄
市川信次先生著作目録抄
遺稿「高田瞽女について」 市川信次
市川信次の学問遍歴 金子以策
市川信次とゴゼ研究 市川信夫
上越市立総合博物館と市川信次先生 池墻忠和
好友四十三年 濱谷 浩

縄文時代前期末葉の居住形態〈予察〉 渋江芳浩・黒尾和久
宮崎博論文「土地と縄文人」に関する先史生態学からの一コメント 小池裕子
埼玉県入間市カジヤカイト遺跡採集の先土器時代終末期の石器 水村孝行・中島 宏
〔研究メモ〕土製竈 水口由紀子

第 40 号(1987.12)

近世農家のイメージ 渋江芳浩
考古学方法論ノート(2) 土井義夫
〔会告〕

第 41 号(1988.9)

古代出雲の延縄漁 内田律雄
千葉県夷隅郡奥殿台遺跡出土の土師質土器 水口由紀子
〔研究メモ〕「近世農家のイメージ」によせて 米崎清実

第 42 号(1989.2)

異系統土器群理解へのアプローチ 石川隆司
マニヒキ環礁の石積み漁法 高杉博章
広瀬和雄「中世村落の形成と展開(物質文化 50, 1988.5) を読んで 木村茂光

第 43 号(1989.12)

近世土器研究の現段階-「江戸在地系土器」について- 小川 望
考古学方法論ノート(3) 土井義夫
小林謙一「江戸における近世灰釉徳利の釘書について」(物質文化 52, 1989.6)を
読んで 浅野晴樹

第 44 号(1990.7)

旧東京帝国大学旧図書館と便所 成瀬晃司
プカプカ環礁の地炉 高杉博章

〔研究メモ〕『備蓄銭』の周辺 橋口定志

第 45 号(1991.1)

江戸遺跡における丹波播鉢覚書 星 梓

朝日トコロ貝塚採集の貝刃 領塚正浩

〔研究メモ〕定住・移動と領域論 土井義夫

第 46 号(1993.2)

北米・平原先住民の道具 関 俊彦

多摩丘陵における近世木炭生産史研究の近業によせて-文献史学の立場から-
君塚仁彦

〔研究メモ〕畑作と集落研究 浜田晋介

第 47 号(1994.5)

大正末期~昭和初期の「字消」印資料 関口広次

採石・生産遺跡調査の現状 渋江芳浩

〔採集メモ〕道灌山胞衣神社と日本胞衣株式会社 土井義夫

第 48 号(1994.11)

瀬戸内海における沈船遺跡について 真鍋篤行

中央アジア遊牧民の輝かしい彫刻-鹿石 D.ツェヴェーンドルジ 土器屋真
理子訳

〔採集メモ〕日本胞衣株式会社の設立 土井義夫

第 49 号(1995.5)

絵巻における「柱」のシンボリズム 田中 信

北サハリン・アレクサンドロフスク博物館について 杉浦重信

〔採集メモ〕日本胞衣株式会社と日本胞衣納器商会 土井義夫

第 50 号(1996.3)

貝塚調査に対する一提言 小林謙一

『貝塚』第 1~50 号総目次

同人言

第 51 号(1996.12)

復原竪穴住居の煙出し穴について 古城 泰

梵鐘に刻まれた蓮華唐草文と瓦 清野利明

〔採集メモ〕極東ロシア・ガーシャ遺跡出土の舟形土製品 辻尾榮市

第 52・53 合併号(1998.7)

岐阜県尾崎遺跡出土のヤリガンナについて 齊藤基生

マレクの系統に関する一序説 山浦 清

長野県北部飯山市における陥し穴 中島庄一

第 54 号(1999.9)

縄文時代におけるイヌ利用の問題について 小島秀彰・菊地 真

縄文時代における土偶形土鈴の一考察 長田友也

多摩檜原遺跡出土の人面把手の再発見 吉本洋子

遼帝陵記 今野春樹

第 55 号(2000.11)

江戸近郊における屋敷墓 中野高久

タター ル(間宮)海峡西岸の遺跡 V. Eデリ ューギン(訳・解説:白杵 勲)

「北海道式古墳」発掘の頃 中田裕香

カリフォルニア発見の一回転式銚頭 山浦 清

第 56 号(2001.2)

銅環とよばれる青銅器について-東日本出土の青銅器に関する一つの考察-

中村 勉

岡本勇先生追悼

二つの縄文社会論-岡本 勇さんの考古学- 市原壽文

岡本勇氏の弥生時代研究 田中義昭

岡本先生の古墳時代研究のことども 武井則道

鳥浜貝塚の頃 高橋雄三

第 57 号(2001.10)

地下茎植物採掘痕と考えられる掘り込み 東 和幸

東日本太平洋岸弥生文化における漁撈民 山浦 清

中川成夫先生追悼

中川先生との出会いの思い出 荒木伸介

先生にはよく叱られました 森川昌和

横浜に伝わっていた鍛冶屋の稲荷信仰 岸上興一郎

中川先生の思い出 金丸義一

お見舞いの記 田中 勉

中川先生と立教大学の考古学 武井則道

中川成夫先生の思い出 越田賢一郎

第 58 号(2002.11)

テシ・ウライとは何か-アイヌの漁撈施設の実態とその社会的意義- 瀬川 拓
郎

タイ東北部の蒸飯具とその習俗 吉川國男 ウオラジンダ ウイツチヤヤー
草原の菩薩 今野春樹

アムール・河中流域で発見されたエスキモーの回転式銚頭 山浦 清

中川成夫先生追悼 (2)

篤実・先見・遺言 坂詰秀一

第 59 号(2003.10)

平井尚志先生追悼号

平井尚志さんと土曜会 石部正志

個人史『貝塚』刊行のころ 岡田茂弘

平井尚志先生と私 古泉 弘

平井さんと『貝塚』 斎藤 忠

平井尚志先生追憶録 坂詰秀一

思い出“平井先生と北海道” 千代 肇

平井先生の思い出 辻尾榮市

平井尚志先生の思い出 藤本 強

松岡恕庵『恰顔斎石品』のこと 杉山莊平

北緯45度へ追いやられたシャイアン族 関 俊彦

穴一と面打 寺島孝一

ロシア沿海地方における特異な磨製石器について(覚え書き) 村上恭通

第 60 号(2005.1)

縄素材からの照射 小薬一夫

北海道オホーツク海沿岸先・原史土器の焼成痕 庄田慎矢 塚本浩司

根岸 洋

横浜市戸塚区前田町より出土した蔵骨器について 平田 健

篠遠喜彦先生近影 編集部

第 61 号(2006.1)

濱田青陵著『考古事入門』と戦時下の出版体制について 平田 健

米国石器製作 Work Shopに参加して 長井謙治

座談会(1994):オホーツク文化の形成をめぐる諸問題-浜中2遺跡の調査(1991-1993)を終えて- 前田 潮(編)

青森県むつ市江豚沢遺跡発掘調査概報(2004年度) 江豚沢遺跡調査グループ

第 62 号(2007.1)

パプアニューギニアの土器-ワニゲラを中心に技術と集団を考える- 笹原千賀子

岩種同定における比重測定の有効性について-千葉県松戸市野見塚遺跡・彦八山遺跡出土石材の再検討から- 柴田 徹

遺跡誌学の提唱 金子昭彦

第 63 号(2007.12)

[論文]

福田K2式をめぐる諸問題-称名寺・堀之内1式との関係を中心として- 山崎真治

擦文文化期の遺跡から出土した横櫛について 中田裕香

北海道式古墳と七・八世紀の太平洋沿岸交通 新井隆一

第 64 号(2008.12)

〔論文〕

石器属性採点法の導入とその有効性について～英国レインボー・バー遺跡を
基礎として～ 水村直人

〔研究ノート〕

ニジェール共和国の石器時代 根岸 洋・森先一貴

第 65 号(2009.12)

石附喜三男と「北海道式古墳」 中田裕香

幕末日本に知られたアメリカ製捕鯨銛 松浦史料博物館所蔵の一絵巻から

山浦 清

第 66 号(2010.9)

レプリカ・セム法による先史時代の植物利用に関する基礎的研究-秋田県域出土
土器を対象として- 高瀬克範

バスクにおける捕鯨の歴史 ジャン＝ピエール プルールクス

第 67 号(2011.10)

旧石器時代から縄文時代の狩りの道具 田村 隆

会計報告

第 68 号(2013.3)

〔研究ノート〕

異状態接合研究—集石構成礫を端緒として— 五十嵐 彰

バングラデシュ・チッタゴンの土器づくり 齋藤正憲

福岡市西区桑原飛楯貝塚出土貝輪について 川添和暁

〔書評〕

小野林太郎『海域世界の地域研究—海民と漁撈の民族考古学—』

辻 貴志

「縄文草創期シンポジウム 2012—起源論を超えて—」開催報告 池谷信之

会計報告

投稿規程/『物質文化』、『貝塚』執筆要項

第 69(2014.3)

〔研究ノート〕

インドネシア・ジャワ島西部、ブミジャヤ村の土器づくり 齋藤正憲
パラオの伝統的カヌーに関する調査報告—沖縄海洋博公園海洋文化館所蔵資料・コトラオルを事例に— 如法寺慶大

〔調査報告〕

エルサルバドル共和国太平洋沿岸部集落における 20 世紀の製塩活動 市川
彰・八木宏明

〔書評〕

長友朋子『弥生時代土器生産の展開』 永井宏幸
「縄文草創期シンポジウム 2012—起源論を超えて—」討論収録 池谷信之
会計報告
投稿規程/『物質文化』、『貝塚』執筆要項

第 70 (2014.11)

〔研究ノート〕

宮古・八重山諸島における先史研究の現状と課題 山極 海嗣
目を入れた岩土偶 川添 和暁

〔資料紹介〕

尾張旭市・城山古窯址群の系譜をめぐって 大西 遼

〔書評〕

大西秀之著『技術と身体民族誌—フィリピン・ルソン島山地民社会に息づく
民俗工芸—』 高倉 純

〔追悼〕

大井考古学とはなにか 天野 哲也
藤本強先生の思い出 新実 倫子
会計報告

第 71 号(2015.11)

〔研究ノート〕

ネパールは周辺か？ 亜周辺か？—カトマンズ近郊の土器づくり民族誌から—

齋藤 正憲

〔資料紹介〕

滋賀県長浜市神宮寺遺跡・越前塚遺跡出土の猿投窯系須恵器—古墳時代における広域流通解明への一資料— 大西 遼

〔報告〕

第17回国際先史学・原史学連合世界大会参加記 高倉 純

〔連載「モノを語る」第1回〕

託されたコレクション—南山大学人類学博物館所蔵のインドネシアの布資料—
如法寺 慶大

〔連載「探求！世界のミュージアム」第1回〕

ブータンのテキスタイル・ミュージアム 宮脇 千絵

会計報告

第72号(2017.3)

〔研究ノート〕

海洋文化館資料の修復報告—適切な展示・保管環境の構築のために—

桃井 宏和

宇宙考古学の射程—現代考古学・物質文化研究としての展望

後藤 明

〔資料紹介〕

続・尾張旭市城山古窯跡群の系譜をめぐって 大西 遼

〔連載「モノを語る」第2回〕

鋸歯印文土器—オーストロネシア語族の拡散を語る土器

小野 林太郎

〔書評〕

湯浅浩史著『ヒョウタン文化誌—人類とともに一万年』

辻 貴志

会計報告

第73号(2018.2)

〔研究ノート〕

千葉県南房総市恩田原遺跡の遺構・遺物が提起する課題 小林 崇

琉球列島八重山地域における土器文化消滅前後時期の土器粘土成分の比較—X線分析顕微鏡(XGT)を用いた土器粘土素材の利用・加工へのアプローチ—

山極海嗣・青山洋昭・泉水仁・石川良介・藤本真悟・亀島慎吾・新垣力

ヌビア遺跡救済運動と鈴木八司先生：ある先駆者の生涯 坂本 翼

〔連載「探求！世界のミュージアム」第2回〕

東京・明治大学博物館 忽那敬三

会計報告

第74号(2018.11)

〔研究ノート〕

伝統工芸品としての古代布―「しな布」製造工程の変化を中心に―

荒井 恵梨子

根茎類食料化の実験考古学 板垣 優河

縄文時代における神津島への航海と黒潮―シーカヤックによる渡航事例をもと
に― 池谷 信之、塩島 敏明

〔書評〕

北條芳隆著『古墳の方位と太陽』石村 智

田和正孝編著『石干見のある風景』辻 貴志

石村智著『よみがえる古代の港：古地形を復元する』後藤 明

〔追悼〕

篠遠喜彦先生の御逝去を悼む 林 徹

会計報告

投稿規定

第75号(2019.11)

〔翻訳〕

"ナタン・シュランガー「新・人間博物館、その歴史と進化」" 吉田泰幸

〔エッセイ〕

Musée de l'Homme ―人とモノの物語安芸 早穂子

〔翻訳者ノート〕

人類博物館か人間博物館か 吉田泰幸

〔追悼〕

環オホーツク文化という構図―山浦清先生を偲んで 加藤 博文

会計報告

第 76 号 (2020.11)

〔調査報告〕

岩手県北上山地のドングリ食 板垣優河

フィリピン・パラワン島パラワンの鳥罨に関する事例報告 辻貴志

春分・秋分は考古的に意味のある概念か？ 後藤明

会計報告

第 77 号 (2021.11)

〔研究ノート〕

中世猿投窯の三筋壺生産の特質 大西遼

ハワイ諸島における考古天文学的研究—近年の研究展望— 後藤明

〔書評〕

池谷和信(編)『ビーズでたどるホモ・サピエンス史—美の起源に迫る』初版 小磯学

ルイス ビンフォード『過去を探求する—考古資料解読の方法と実践』 渡部森哉

会計報告

第 78 号 (2022.11)

〔研究ノート〕

古墳時代の調理技術の復元に向けた基礎的実験—「炉で蒸す」調理の実践— 小野本敦

後期旧石器時代前半期における隠岐諸島黒曜石の獲得・消費行動 灘友佳・及川穰

弥生時代末の暦を考える 北條芳隆

会計報告

第 79 号 (2023.11)

〔研究ノート〕

再度スキャンソーナーを用いた水中遺跡調査の実践的取り組み—桧原宿跡を事例に— 中川永・山崎新太郎・谷川亘・木村淳・佐々木蘭貞・島田章広

〔書評〕

ソフィー・タンハウザー（鳥飼まこと訳）『織物の世界史—人類はどのように紡ぎ、織り、纏ってきたのか』 東村純子

岡田淳子・服部敬史・矢島國雄 編著『西南アラスカ・エスキモーの考古学—アラスカ半島ホットスプリング遺跡』 岡安光彦

奥野克己『はじめての人類学』 藤川美代子

会計報告